

Windows 版「原稿エディタ ver.4」 解

説
書

(本解説書は「原稿エディタ」で読
みやすいよう書式が設定されていま
す)

文書の読込みサイズ・書込みサイズ及び入力文字数の各制限があります。

この制限はユーザー登録をして頂ければ解除されます。

登録の方法は、このファイルの文末をご覧ください。

本文書の内容はヘルプファイルにも記述されています。

記述内容が相違する場合は、ヘルプの内容が最新のものです。

Windows 95 / 98 / NT / 2000 / Me / XP 上で動作します。

このドキュメントファイルは、「原稿エディタ」を解説するものです。

「Windows 版 原稿エディタ」はWindowsの一般的な操作方法を採用しています。

メニューバーやその項目の選択方法等は「

Windowsのマニュアルを参照してください。

本文書は以下の項目から構成されています。

原稿エディタの概要

原稿エディタの組込み

起動と操作方法

起動から終了迄の操作入門

コマンドラインオプション

機能呼出しキー（ショートカットキー）

制限事項・その他

ユーザーサポート

ユーザー登録の申込み方法

本文中の「」は半角文字列を表すもので、
実際の指定時には不要です。

質問と回答をまとめたファイル Q&A.TXT
×Tも、是非ご覧下さい。

バージョンアップ（改版）の履歴は「
OG.TXTをご覧ください。」

VED_DEMO.EXEは本エディタのオートルーフディスク

トリーシヨングプログラムです。

無操作で主要機能が一覧出来ます。



原稿エディタの概要

○全体的な特徴

- ・ 今までになかった、本格的な原稿作成用エディタです。

段組の縦書／横書編集及び印刷が可能です。

・ 構成索引機能

長文の構成を支援する機能です。

本文の各行に索引（見出し）が付けられ、文章の全体構成が一覧出来、常に表示させて本文の編集が可能です。各々の索引より対応している行へのジャンプが出来ます。又、索引に対応した章単位の移動も可能です。

本文書を「原稿エディタ」で開くと、索引の見本があります。

・ 同義・関連語一覧機能

語彙表現を支援する同義語辞書機能で、約3万5千語を収録しています。

単語を入力すると、その語の同義語及び関連語一覧が表示され、その候補の中より選択した語を本文に挿入出来ます。

・HTML(マークアップ)作成機能

普通のテキストファイルがWEB上にて縦書表示で、頁めくり出来ます。

・カーソル移動・画面スクロール・頁めくりが高速です。

・1文書の編集可能容量は2MB、400字詰原稿用紙にて3000枚以上と、十分な容量です。

・通常のテキストファイルに加えて、独自の「拡張ファイル」を採用する事により、文書表題・ルビ(添字)・ミヤコマーク、及び

各行の書式の保存が可能になっています。

- ・ シンプル仕様で、ヘルプ表示機能にてマニユアルレス操作が可能です。

○編集画面

- ・ 原稿用紙風の罫目表示が出来ます。罫目の他、便箋風の縦線表示も可能です。

当然の事ですが、「表示なし」の選択や、表示色も指定できます。

- ・ 段組表示状態で編集が出来ます。この場合でも、カーソル移動・画面スクロール・頁めくりは高速です。

- ・ 各機能呼出しのツールバーと標準スクロールバーは表示をオン/オフ可能です。

- ・ 文字フォントの種類やサイズを選択できます。この文字フォントや縦／横書き形式、

文字数や列数を「書式」として環境設定ファイルに登録し、切替選択できます。

GRPH(ALT) + 数字 にも、登録した5書式への切替えが可能です。

・半角文字は横転(90度回転)にて表示。
正立の組文字表示も可能です。

・行頭行末禁則表示・印字機能があります。
禁則処理は、なし・あり・二重を選択可能
になっています。

○編集機能

・各機能呼出しのツールバーは、項目の選択や順序が自由に設定可能です。

・使いやすい、カット&ペースト（切り貼り）、検索・置換機能があります。

・指定の文書箇所へのジャンプは、マークと文字列の両方で可能です。

これらの情報は拡張ファイルに格納されます。

・ルビ（添字・ふりがな）の付加・訂正・削除が簡単にできます。

・アンドウ機能で削除した文字（列）が容易に復活出来ます。

・マウスの機能が豊富です。

画面のスクロールや頁めくりも出来、

マウス操作だけで、カット&ペースト（文字列の切り貼り）が可能です。

○印刷機能

- ・強力な印刷機能があります。原稿用紙体裁の罫目とルビ付きで、印刷書式は3書式登録出来、各々異なるフォーマットで、段組の縦書／横書印字ができます。

○その他

- ・編集終了時の状態を保存し、次回編集時に編集状態を再現する機能があります。

- ・文書の表題（書名・メモ・記事等）を各々のテキストファイルに対応した、拡張ファイルに保存する事により、ファイル選択や履歴情報表示の時に参照出来ます。また、同様に印刷表題も拡張ファイルに保存する事により、印刷やエディタ作成時の表題に使えます。

- ・編集文書履歴管理機能があります。保存時の文書（ファイル名・文書サイズ・編集日時

- ・ 文書表題を、指定した履歴ファイルに記録・表示します。

コマンドラインにて履歴ファイル名を指定出来、特定文書だけに対応した履歴管理が可能です。履歴ファイルを指定しない場合は、標準の履歴ファイルが使われますので、この場合は編集を実行した全ての文書が、一括管理されます。

- ・ 新規文書名の自動生成機能（昇順番号生成）があります。

- ・ 入出力形式はMS-DOSのテキストファイルですから、他のワープロ/エディタ/DTプリンタやワープロ専用機等からの読込みと書込みが可能です。

原稿エディタの組込み

解凍したフォルダには下記の15本のファイルが含まれています。

V E D · E X E
実行ファイル。

V E D | L I B · D L L
実行ライ

ブラリファイル。

V E D | L I B · S Y N
同義語ファ

イル。

V E D · C L A S S
HTMLファ

イルから呼出されるアプレットファイル。

V E D · C H M
オンライン

ヘルプマニユアルファイル。

V E D · E N V
環境設定ファ

イル。

V E D · L O G
編集履歴ファ

イル。

R E A D M E · T X T
この文書。

R E A D M E · V E D 上の文書の
拡張ファイル。

Q & A · T X T 原稿エディ
タに関する一般的な質問と回答集。

V E D · L O G · T X T 原稿エディ
タの改版（更新）履歴。

V E D · D E M O · E X E 原稿エディ
タのフォーティ、フォントレシジョン、ログ、ラム。

V E D · D E M O · E N V デモの動作
時に使う環境設定値ファイル。

V E D · D E M O · D A T デモの動作
時に使う実行データファイル。

V E D · W A K E · E X E セットアップ
後に実行される「ログ、ラム」。

本エディタの動作に必要な基本ファイルは
この6本の6本です。

この6本を同一のディレクトリにコピーし
ます。

コピー先のディスクに必要な空き容量は、

約800KBです。

セットアップ・プログラムの使い方

V E D | 2 0 0 0 · E X E を実行して下さい。

1 . 組込みダイアログボックスが開きます。

先頭のハードディスクの * 原稿エディタが組み先に指定されていますので、必要な場合は変更してください。「実行」を選択すると、システムファイルのコピー及びディスクトップへのアイコン登録処理が実行されます。

2 . 原稿エディタアイコンは5種類登録済みです。

アイコンの変更は、原稿エディタのアイコンを右クリックし、最下行のプロパティ (Ⓜ) をクリックします。「ショートカット」のタグをクリックして「アイコンの

変更(○)」をクリックすると5種類のアイコンが表示されますので、好みの物を選択してください。

アンインストールの方法

コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」を開き、原稿エディタを選択して削除を実行して下さい。
システム領域へのライブラリ等の書込みは一切行っておりませんので、アンインストールはファイルとアイコンを削除するだけでも可能です。

起動と操作方法

原稿エディタのアイコンをダブルクリックしてください。

「起動時の動作選択」画面が表示されます。

ここでは「新規文書の入力」と「文書ファイルの選択」が選べます。

「文書ファイルの選択」を選ぶと次に進みます。

ファイル名の入力画面が出ます。ここで、ESCキーを入力するか、

ディレクトリを指定した時は、カレントディレクトリか、指定したディレクトリ

のファイル選択画面となります。

入力したファイル名がディスク上に存在しない時は「新しい文書を作成します」と

メッセージが出て、右上にEOF(end of file)マークが表示されます。

ファイルが存在する時は、その文書が表示されます。

起動すると自動的にIMEの動作状態となります。もし、このIME制御に支障がある時は、本エディタの環境設定の「仮名漢字制御」を「しない」に設定してください。

本エディタの中で「列」と言う言葉を使っています。これは画面上の縦の1列、即ち物理行の事を示しています。「行」は復帰改行迄の論理行（段）を示します。

最初の動作時の操作

本文の文字フォントサイズはハードの画面解像度に合わせて選択してください。

出荷時の設定は640×400ドットに合わせてあります。この時のファイル選択等の`プロク、キックン`等は、`スタンキナ`に12ドットを使うものとして設計しています。

最初の起動時に文字フォントサイズの選択とウィンドウのサイズを設定して、使用中のディスプレイ環境に合わせてください。両サイズは環境設定ファイルに保存されます。

書式は1〜3のみを各々、「縦」と「横書」及び「縦書き高速頁替」に設定してあります。

書式の選択はメニューの他、`GRPH + 数字`でも可能です。ある書式の縦横モードを切換えた時は、その書式の文字フォントの再選択（@あり／なし）が必要です。

TrueTypeフォントは文字描画が遅

くなりますので、本文の文字フォントは出来るだけ「@標準明朝」または「@標準ゴシック」をお使いください。

画面フォーマットの基本は表示に使用する文字フォントのサイズ（ポイント）です。

文字間隔・列間隔・罫目の幅は「環境設定 各書式・数値」にて文字サイズに対する割合（％）で設定されていますので、文字サイズが変更された時には、それに伴って実際の各間隔と幅は変更されません。

画面フォーマットの文字数と列数の設定可能最大値は、上の項目と原稿エディタが動作しているウィンドウの大きさによって決まります。従って、画面の縦（横）文字数を最大にしたい時は、次の手順で行なってください。（1・2は順不同）

→ 文字フォントのサイズを判読可能範囲で、出来るだけ小さいものを選択する。

2. 原稿エディタのウィンドウサイズを最大

にする。

3. 環境設定・各書式数値設定で「文字間ピッチ」を最小に設定する。

4. 環境設定・各書式数値設定で「縦（横）の余裕」を最小に設定する。

5. 環境設定・各書式数値設定で「一列の文字数」を大きく設定する。

列数についても「列間ピッチ」を最小にすれば、最大値が設定出来ます。尚、文字や列の値が大き過ぎた時は、自動的に切り詰められます。また、「字列最大ボタン」によっても、現在取り得る最大の文字数と列数の設定が出来ます。

この時文字と列の間隔は変わりませんので、必要に応じて「字／列間ピッチ」を調整してください。

「環境設定 各書式・選択」の「字・列の自動最大設定」を「しない」以外にしておくと、常に上の動作が自動実行されます。

各機能呼出しのツールバーは、項目の選択や順序が自由に設定可能です。

最初にお使いになる時、なるべくヘルプの全文をお読みください。原稿エディタの起動後、SHIFT + F1 で、各メニュー内容のヘルプ参照モードになります。

起動から終了迄の操作入門

エディタソフトを初めて使われる方は、下記1～4の操作を試して下さい。

1. 起動

原稿エディタのアイコンをダブルクリックして下さい。

「起動時の動作選択」画面で「文書ファイルの選択」を選んで下さい。

2. ファイル名の入力とファイル選択

ファイル名の入力ラインが反転表示されます。適当なファイル名を入力し、RETURNキーを押して下さい。ファイル名を入れずにTABキーを押すと、ファイルの選択が出来ます。キーでファイルを探します。目的のファイルにてRETURNキーを押すと、そのファイルが選択されます。

3. 文書の入力と編集

2. で入力したファイルが存在する時、及びファイル選択時は、そのファイルの文書が表示されます。ファイル名が存在しない時は、画面の先頭にEOF(end of file)マークが表示されます。

キーでカーソルが移動します。但し、EOFマークより後へは移動出来ません。適当な場所に文字を入力して下さい。通常は右下に示すように「挿入」モードになっていますので、文字は挿入されて行きます。文字の削除はDELキーかBSキーにて行ないます。

4. 保存と終了

「ファイル」の「終了」を選択して下さい。

文書が入力・編集された場合は保存確認のメッセージが出て、「はい」、「いいえ」、「キャンセル」のいずれかが選択出来ます。「保存」を選択すれば、文書は保存され、

原稿エディタが終了します。



コマンドラインオプション
起動時に指定可能な動作環境設定オプションです。

コマンドラインには編集するテキストファイル名を指定可能です。

これは指定しなくても構わず、その時は最初にファイル名の入力画面が出ます。

コマンドラインの変更は、原稿エディタのアイコンを右クリックし、最下行のプロパティ (P) をクリックします。「ショートカット」のタグをクリックすると「リンク先 (URL)」という入力欄があります。ここの VED. EXE の後の半角スペース後に、入力してください。

/B バックアップファイルを作成しません。
これを指定した場合も、ファイルの保存時には、一時的に新たなファイルを作成しますので、ディスク上にはその分の空き容量が必要です。

これを指定した時は編集前の元のファイルは失われますので、随時、文書ファイルの保存管理を行なって下さい。

/E 使用する環境設定値ファイルを指定出来ます。

例えば、ファイル名が「NOTE.ENV」の場合、
「NOTE.ENV/E」と指定します。

この指定がない時は標準の「VED.ENV」の設定値が使われます。

/L 編集履歴ファイルの指定

環境設定値ファイルと同様に、履歴管理ファイルを指定できます。

この指定と編集文書の指定を組み合せることにより、特定の文書だけの履歴管理が可能になります。指定しない場合は標準の、「VED.LOG」が使われ、全ての履歴はこのファイルに記録されます。【例：KIROKU/L】

／
Z 確認表示の時にブザーを鳴らしません。



機能呼出しキー（ショートカットキー）

マイクログラフメニューの機能選択をせずに、各機能を直接、実行可能です。

次に示すキーは標準編集キーとして、各編集機能に割当て済です。

上の機能呼出しと同様、CTRLキーを押しながら押下します。

「環境設定」の「キー設定」にて設定を変更出来ます。

A : ROLL・UP B 元に戻す (SHIFT + B

S)

C : コピー (CTRL + INS) D :

E : F : ROLL・DOWN

G : DEL J : BS

M : 改行 (Enter/Return) Q : 画

面を左移動 (GRPH +)

S : V : 貼り付け (SHIFT +

INS)

W : 画面を右移動 (GRPH +) X

: 切り取り (SHIFT + DEL)

Y : 1 列削除 Z :

制限事項・その他

○編集可能容量について

編集可能な文書の大きさは最大2Mバイト、400字詰原稿用紙2500枚相当です。ただし、論理行が6万5千行迄の制限があります。

○ファイルの選択について

本エディタはテキスト（文字列）しか扱えませんので、.EXE.OBJ.LIB等の拡張子が付いたファイルは選択画面に表示しません。又、ファイルの先頭部に文字以外のデータがあった時は、そのファイルを選択出来ません。

「拡張ファイル(.VED)」がある時は、それに対応したテキストファイルの右側に「文書表題」を表示します。表題が空の時は「*」のみを表示します。

起動時の選択画面は3回出てきます。最初の選択はコマンドラインに指定した

値を使います。指定がないかこの選択を「」のキーにて未選択終了すると、2回目は環境設定の「テキストファイルのパス名」で指定したディレクトリの選択画面が出ます。常に良く使うテキストファイルが収納されているディレクトリを、このパス名に指定しておく、使い勝手が良いと思います。2回目を未選択終了すると最後はカレントディレクトリから選択動作を行ないます。

○その他

・奇数の半角文字列に続く全角文字は、偶数位置に正規化され表示されます。

ユーザーサポート

製品に関するご質問は、ユーザーサポートにてお受けしています。

ユーザー登録ID・No. Ver.・No. 及び具体的な状況（使用機種名・ソフト名等）を明記の上、出来るだけ、e-mail・FAX・郵便、にてお願いします。

（登録ID・No.はヘルプの「原稿エディタの情報（一）」にて表示されます）

〒168-0062 杉並区方南 2-4-17-305（有）

ふたみ 原稿エディタ「ユーザーサポート

TEL&FAX 03・3795・0730【TEL.

（月・金・13-18時）】

e-mail sys@ftm.co.jp

本ソフトウェアの一部を改変、又はファイル構成を変更しての再配布及び転載は、固くお断り致します。

再配布及び転載される場合はメールにてご連絡下さい。

本ソフトウェアは著作権法で保護されています。

登録ID・No.の流出（第三者への譲渡等）があつた場合は、該当の登録ID・No.による無償バージョンアップサービスは停止されますのでご注意下さい。

ユ・ザ・登録お申込み方法

登録料と登録方法

登録料は3800円(※3,800)です。ご送金頂ければ、弊社よりユーザ―

登録ID・No.をe-mail・FAX・又は郵便にてお知らせ致します。

登録ID・No.を入力して頂きますと、文書の読みみサイズ・書込みサイズ・入力文字数・同義関連語表示の各制限が解除されます。

ご送金方法

・郵便振替

郵便局にて「振替用紙」通信欄に、「原稿エディタ代金」と書き、お名前、住所、TEL.(FAX)、及び登録ID・No.の通知方法

を御記入の上、左記振替口座に3800円
をご送金下さい。（入金確認に3・5日
かかります）

振替口座 00150-1-559887
(有)ふたみ

・ 銀行振込

と同じ項目と振込み予定日を、e-mail・
FAX・郵便のいずれかでお知らせ下さい。
その後、お知らせいただいた同じお名前
にて、左記銀行口座に3800円をご送
金下さい。

三井住友銀行下北沢支店（普）10221
60 (有)ふたみ

旧称「日本語縦書エディタVED」のユー
ザー様へ

弊社の登録No.を取得済みのユーザーに
は、登録料2500円（※2,500）にてシエ
アウェア版への移行をさせて頂きます。

ご送金方法の金額3800円を2500円に読替えて、お申し込み下さい。この時、必ず登録ser.no.を併記して下さい。登録ser.no.はFDのラベルに表記してあります。

登録ser.no.が判らない方は弊社までお尋ね下さい。

バージョンアップについて

原則として月1回以上、機能更新しますので、弊社HP <http://www.ftm.co.jp/sys>よりダウンロードして下さい。

再インストール時に環境設定ファイル(*.env)を残せば、再登録の必要はありません。設定ファイルを書換えてしまった時は、登録D.no.を再入力すれば引続きご使用になれます。

ダウンロードが出来ない方は送付手数料500円を上記方法にて、ご送金頂くか、額面80円以上の切手50

0 円分を下記住所にお送り下さい。最新版
のフロッピーディスクをお送り致します。

TEL&FAX 03・3795・0730 (TEL:

平日 13-18 時)

〒168-0062 杉並区方南 2-4-17-305 (有)

ふたみ システム部

e-mail sys@ftm.co.jp